



▲一荷釣りは当たり前



▲30センチ超えの良型もたまに交じる



▲追い食いを狙ってトリプル達成!



▲本牧沖ではクロダイもよく交じる

(詳細は54ページ参照)



★安定した釣果を期待するならば何はなくとも東京湾のライトアジ!

▶当日のポイント
は富岡~本牧沖の
水深20メートル
前後



▲後半の本牧沖では25センチ級が主体となった



▲前半の富岡沖では20センチ以下の小アジで数がのびた



▶根の荒い本牧沖ではタナは底から3~4メートルと高め
▼弁天屋はオモリ40号のライトスタイル



東京湾奥金沢八景出船 年末も定番! 鉄板!! 東京湾のライトアジ爆釣

撮影◎平林潔

年末の納竿釣行は安定した釣果を期待したいというなら東京湾のライトアジがおすすすめ。冬になっても釣果が落ち込むどころか、ウナギ登りの状態。シヨート船や一日船ならトップ束釣りは珍しくない釣れっぷり。釣り場は湾内各所にある船により狙うポイントは変わってくるが、金沢八景の弁天屋から出船した11月下旬の取材日は前半は富岡沖で中小型の数狙い、後半は本牧沖で良型狙いと攻め分けトップ147尾、平均40~50尾の爆釣デーとなった。この模様は当分続きそうなので、年末釣行の鉄板ターゲットと言えるだろう。



▲富岡沖でのタナは底上2~2.5メートル前後



▼このサイズのアジもおいしい



▲手早く取り込んで手返しよく釣っていいこう



◎東京湾奥金沢八景・弁天屋
宇野 泰幸船長